

INAF研究会 2024.9.8.

移民・難民・マイノリティ

—欧州ポピュリズムの根源

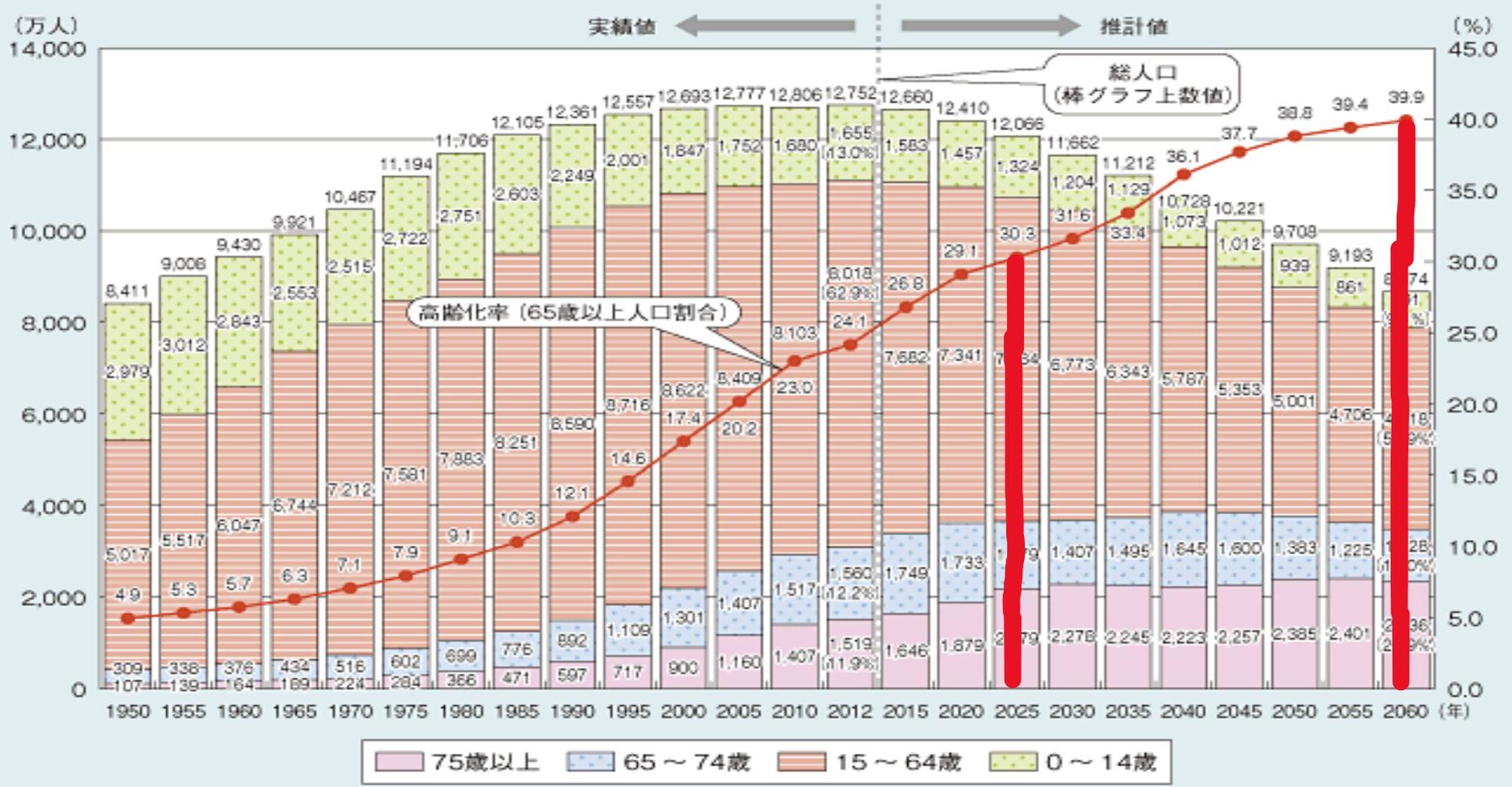
先進国の少子高齢化にどう対応するか
多文化共生、日本への教訓

羽場 久美子

INAF 副理事長、青山学院大学名誉教授、
京都大学客員教授、早稲田大学招聘研究員
世界国際関係学会 (ISA) 元副会長
ハーバード大学 客員研究員(2011-12)

表5. 日本の変化: 少子高齢化と労働者不足: 日本の人口、(国立社会保障・人口問題研究所、内閣府総務省Data)
2070年には、人口8700万、生産年齢人口半減4500万、65歳以上4割、3400万、0-14歳800万
改革なければ、2110年には人口3分の1, 2200年には人口1千万人! 3300年に消滅!
入管法改正2019.4. 外国人労働者受け入れ。5年で34万人:(1年目1900人!)
周辺国との協力、移民は重要! 人口と労働力保持は、少子化日本に緊急の課題!

図1-1-4 高齢化の推移と将来推計



資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2012年は総務省「人口推計」（平成24年10月1日現在）、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位假定による推計結果
 (注) 1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

日本の移民・難民数 ご存じですか？

- ▶ 日本の移民数 令和5年末現在における中長期在留者数は、312万9,774人、特別永住者数は、28万1,218人で、これらを合わせた在留外国人数は、**341万992人**となり、前年末(307万5,213人)に比べ、33万5,779人(10.9%)増加→ しかし今や韓国にとられつつある。
- ▶ (韓国移民の時給1700円、日本1200円。出典朝日新聞24/8/30)
- ▶ 日本の平均最低賃金、950円台！が14県！東京でも1055円)
- ▶ 難民数 令和4年で、難民と認定した外国人が3772人、前年に比べ、1359人増。それまで2桁が続いてきたので、ウクライナ難民受け入れ後飛躍的に増加。先進国ではまだ少ない。
- ▶ 令和4年、日本の外国人数3007万、過去最高。初めて300万超

- ▶ 日本の在日中国人 76.1万人
- ▶ 在留ベトナム人 48.9万人
- ▶ 日本の在日韓国人 41.1万人
- ▶ 少子高齢化の日本、「多文化共生」が生きる道！

Goldman Sachs (2023.4): 先進国が入れ替わる。
 2050年、2075年には、中国、インド、米、インドネシア、
 ナイジェリア、パキスタンが世界トップ6に。日本は12位に転落！

Exhibit 4: Our Projections Imply that China, the United States, India, Indonesia, and Germany Will be the World's Five Largest Economies in 2050

World's largest economies (measured in USD)

Ranking	1980	2000	2022	2050	2075
1	United States	United States	United States	China	China
2	Japan	Japan	China	United States	India
3	Germany	Germany	Japan	India	United States
4	France	United Kingdom	Germany	Indonesia	Indonesia
5	United Kingdom	France	India	Germany	Nigeria
6	Italy	China	United Kingdom	Japan	Pakistan
7	China	Italy	France	United Kingdom	Egypt
8	Canada	Canada	Canada	Brazil	Brazil
9	Argentina	Mexico	Russia	France	Germany
10	Spain	Brazil	Italy	Russia	United Kingdom
11	Mexico	Spain	Brazil	Mexico	Mexico
12	Netherlands	Korea	Korea	Egypt	Japan
13	India	India	Australia	Saudi Arabia	Russia
14	Saudi Arabia	Netherlands	Mexico	Canada	Philippines
15	Australia	Australia	Spain	Nigeria	France

表3-2) 世界購買力平価 (PPP) ランキング (2022)

2022年 購買力平価GDP (世銀統計)

順位	国名	単位：百万US\$	注
1	<u>中国</u>	30,337,137	中国はアメリカを5兆ドル差で抜く！
2	<u>米国</u>	25,439,700	米日併せて中国のGDP
3	<u>インド</u>	11,904,797	インドは日本の2倍
4	<u>日本</u> ★	5,703,678	中国の5分の1、インドの半分！
5	<u>ロシア</u>	5,326,855	★ロシアが回復、ドイツを抜く！
6	<u>ドイツ</u>	5,323,007	
7	<u>インドネシア</u>	4,038,239	インドネシア、ブラジルが、英仏を抜く！
8	<u>ブラジル</u>	3,838,532	BRIICS
9	<u>フランス</u>	3,764,759	
10	<u>イギリス</u>	3,678,728	

表3-3) 世界GDP一人あたりランキング (2024)

1	ルクセンブルク	131,384ドル	1.2%
2	アイルランド	106,059ドル	1.7%
3	スイス	105,669ドル	5.2%
4	ノルウェー	94,660ドル	7.9%
5	シンガポール	88,447ドル	4.4%
6	アメリカ	85,373ドル	4.6%
7	アイスランド	84,594ドル	5.7%
8	カタール	81,400ドル	3.4%
9	マカオ	78,962ドル	14.3%
10	デンマーク	68,898ドル	0.9%
30	プエルトリコ	37,172ドル	2.2%
31	キプロス	37,149ドル	6.3%
32	バハマ	35,257ドル	3.0%
33	ブルネイ	35,111ドル	2.5%
34	台湾	34,432ドル	6.1%
35	韓国 (移民の時給1700円) 朝日240825	34,165ドル	2.9%
36	スペイン	34,045ドル	2.9%
37	スロベニア	34,026ドル	5.6%
38	日本 (移民5の時給1200円) 朝日240825	33,138ドル	-2.0%

少子高齢化社会をどう再編するか — 日アジア欧共通の課題 —

- ▶ 日本は、40年後（皆さんが高齢者になるころ）は、
- ▶ 労働力人口が半分になり、GDPは半減、12位に転落、
- ▶ 年金もかなり困難になると言われている。
- ▶ 労働力不足を補うために、皆さんはどうすればいいと考えますか。
- ▶ 政府は3つの案を提案している。
 - ▶ 1. 高齢者の定年を伸ばす
 - ▶ 2. 人口半分の女性に働いてもらう
 - ▶ 3. 優秀な移民にもっと来てもらい、経済を活性化
- ▶ 1, 2がITAI社会、女性の雇用条件が整わない（女性のエンパワメント、世界で最低レベル）なか、3に期待が集まる、
- ▶ あなたはどう考えますか？

40年後に半減する日本の労働力不足、年金不足に対処するためには？

- ▶ 政府の3つの案
- ▶ 1. 高齢者に65歳以上も働いてもらう。プラスマイナス
(ITやAI の時代に対応できるか)
- ▶ 2. 人口の半分を占める女性に働いてもらう。プラスマイナス
(日本は今でも女性の活躍世界156カ国で120番目) —
少子化、保育所、セクハラ、パワハラにどう対処？日本型の
家庭と労働：残業、単身赴任、長時間労働にどう対処？)
- ▶ 3. 移民を入れる。プラスマイナス
(低賃金、人権無視、海外からの批判。ゼノフォビアや
ナショナリズムの広がりにどう対処？)

1. 世界を揺るがした**最大の問題**—**ウクライナ戦争の前、難民危機** 2015年欧州100万/全世界6500万、WWII以降最大
2022年、全世界1億840万人、(移民は2億8000万人)
コロナ禍でも増加！ウクライナ移民で1億超え

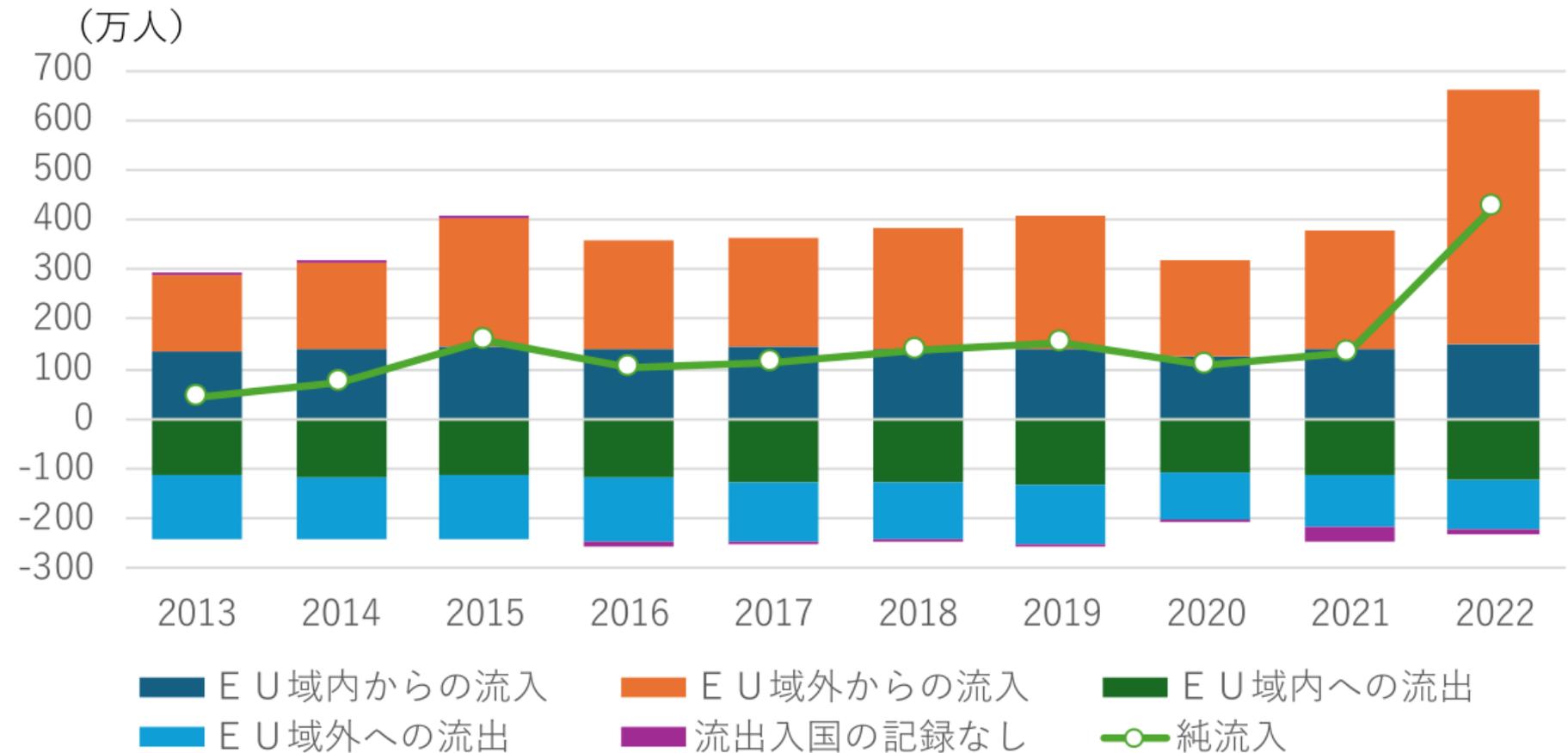


2. EU境界線でにらみ合う難民と警官 ハンガリー(EUの東南の境界)。その後陸路は閉じられる。



EU27か国への移民流入数(2013-22) 年300-400万(流出も200万) 2022年(ウク)は、700万人(流出200万)

(図表1) EU27ヶ国への移民の純流入数の年間推移



3. 欧州における難民流入:目指すはドイツ

(1) 地中海ルート、(2) バルカンルートX



4. ヨーロッパの分断

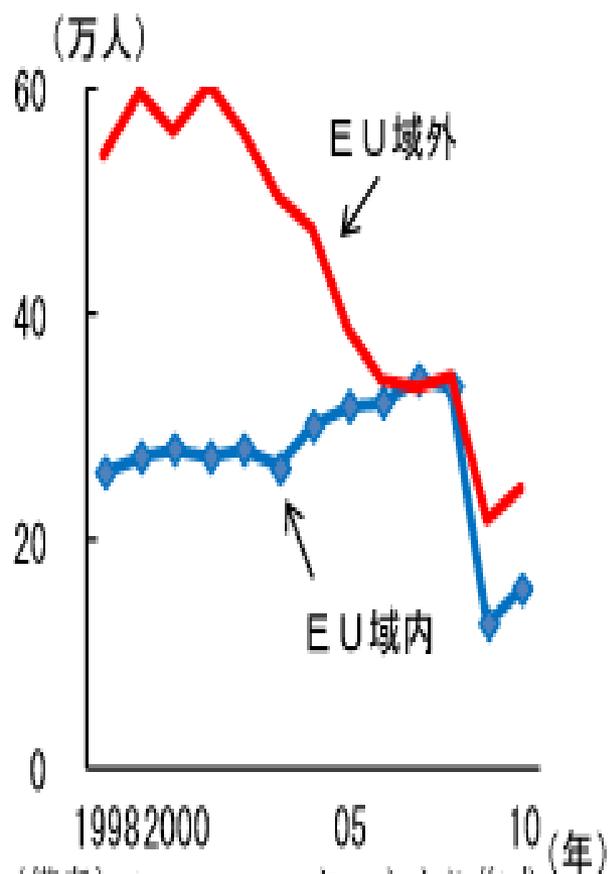
—移民・難民の急増とナショナリズム—なぜ100万人の移民難民がEU境界線に押し寄せたのか?

- ▶ 1) 冷戦終焉、EU拡大、グローバル化—移民の急増
- ▶ 年100万人近い難民が欧州へ。
- ▶ 現在、ヨーロッパ(8,200万人)、北米(5,900万人)、北アフリカ・西アジア(4,900万人)
- ▶ 2) 2015-16 欧州**難民危機**。100万人を超える難民がEUに。
- ▶ 3) 原因、紛争、戦争★中東不安定化、空爆、テロ、ウクライナ★
- ▶ 3) <移民と難民の違い>
- ▶ (1) **移民—経済移民**—送り出し国、受け入れ国双方にメリット(深刻な労働力不足、競争力、経済的仕送り)
- ▶ (2) **難民—政治難民**—「命からがら」逃げてくる人たち。
- ▶ 「保護する責任」—食料、水、医療、住む場所を与える。
- ▶ 保護する責任—(災害難民と同様)

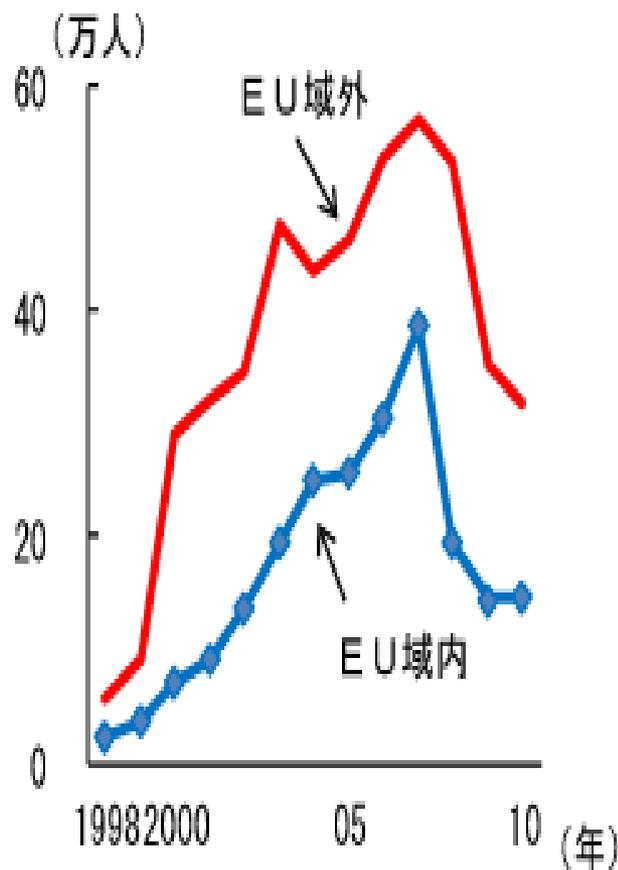
5. 移民難民の変遷: ドイツ、スペイン、イタリア

1998-2010

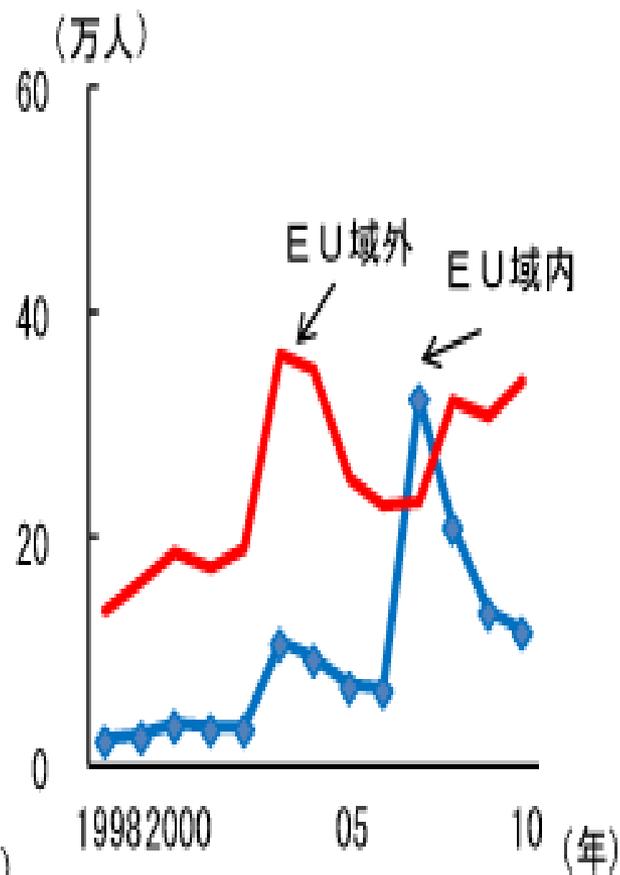
(ドイツ)



(スペイン)



(イタリア)



(備考) 1. ユーロスタットより作成。

2. イタリアでは数年に一度不法移民に滞在許可が与えられ、正規化が行われるため、07年は一時的に増加している。 4

6.ヨーロッパへの移民難民の流入—90年代は東、
2000年代は南から。1)賃金格差、2)アラブの
春・不安定化、3)→Nationalism



7. ヨーロッパへの移民・難民の増加

1) 境界の開放、労働力不足、2) 賃金格差不安定化、3) ナショナリズム高まる。

1. 冷戦の終焉、境界線の開放一人の移動の自由化
周辺の貧しい国より、大量に人の流入(企業が要請)

▶ ①. Global化、EUの拡大2004-7

▶ EU経済、アメリカを凌ぐ。 → 移民の流入

2. ★金融危機一格差の拡大★先進国内格差

▶ ②. リーマンショック以降、先進国の停滞

▶ ユーロ危機、長期化(2010-12)

3. ★先進国の経済停滞、移民流入の不満⇒

「自己利益・価値を守る」

ナショナリズム各国で成長。

8. <EC/EUの拡大 >

(賃金・社会格差による移民・難民流入しやすくなる)

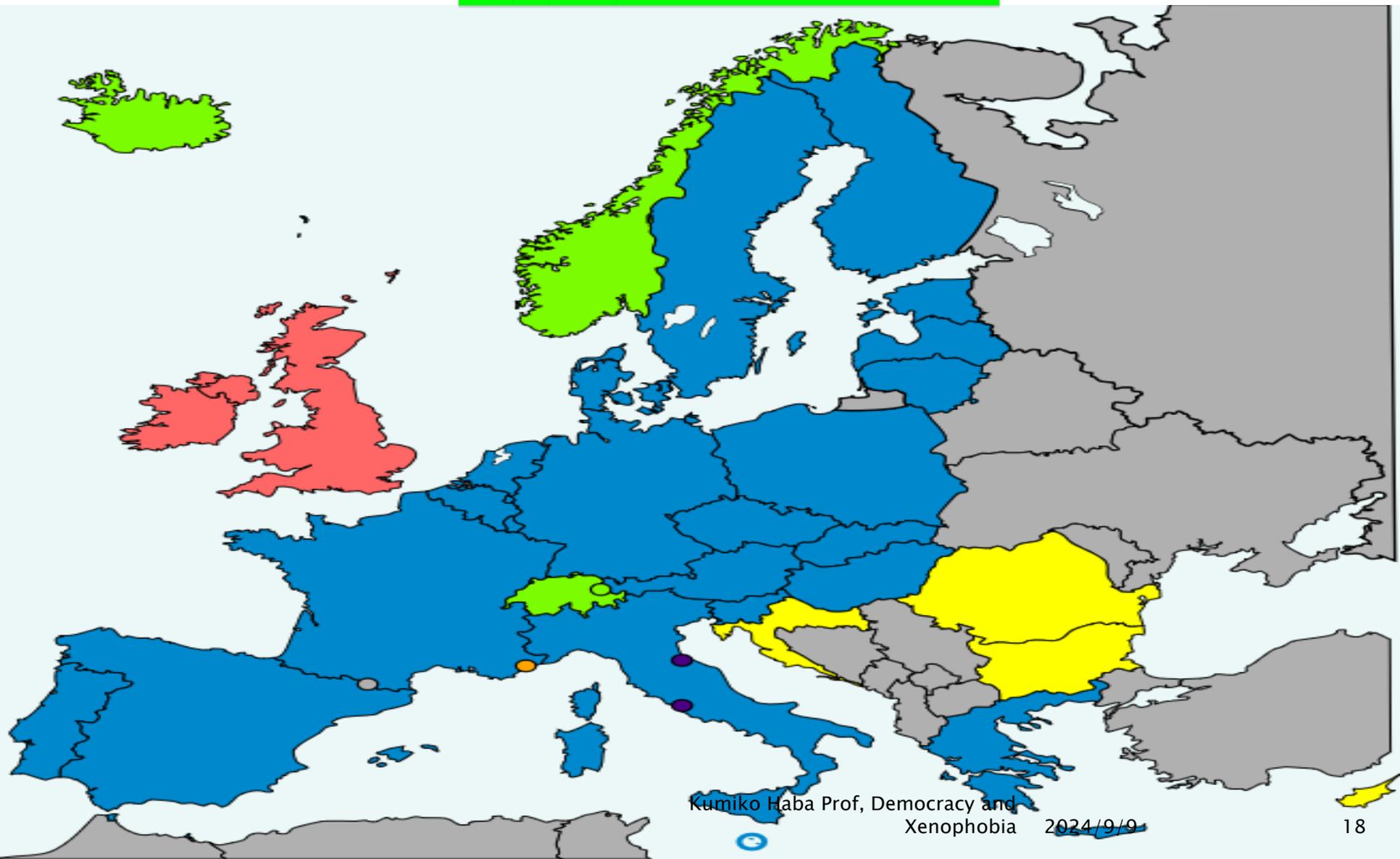
- ▶ 1952 6か国(仏独イタリア+ベネルックス)
- ▶ 独仏和解 「不戦共同体」ECSC, EEC, EURATOM
- ▶ 1973 9か国(デンマーク、イギリス、アイルランド)
- ▶ 1981, 86 12か国(ギリシャ、スペイン、ポルトガル)
- ▶ 1995 15か国(中立国:オーストリア、スウェーデン、フィンランド)
- ▶ **2004 25か国(中・東欧8か国+キプロス、マルタ)**
- ▶ **2007 27か国(ルーマニア、ブルガリア)**
- ▶ **2013 28か国(クロアチア)**

交渉国:アイスランド、マケドニア、モンテネグロ、トルコ、セルビア

加盟が期待される国:ノルウェー、スイス、アイスランド、

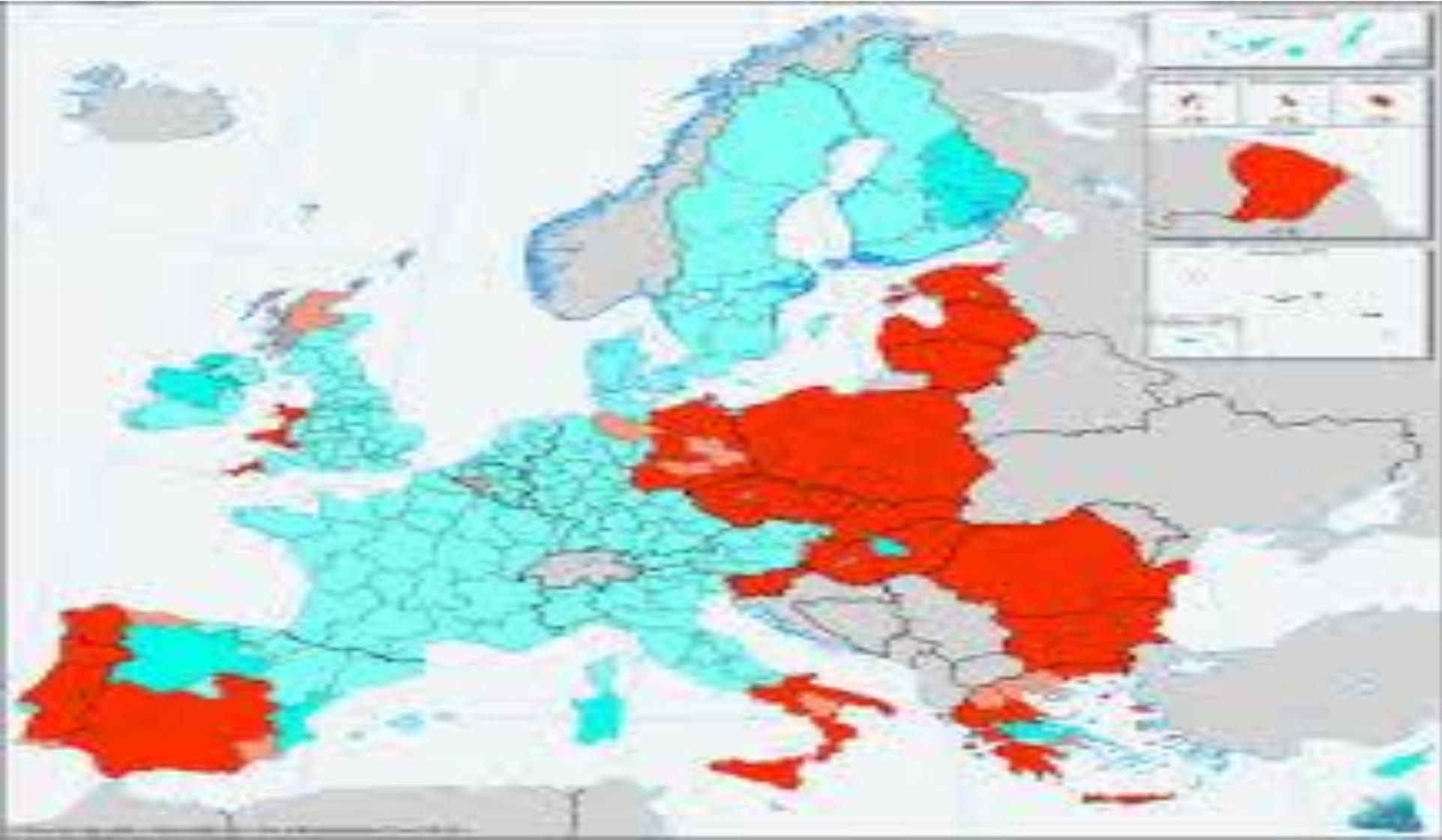
潜在的加盟候補国:ボスニアヘルツェゴヴィナ、アルバニア、
コソヴォ

9. シェンゲン協定—青 加盟、黄 新加盟執行予定 ★赤 (UK) 非加盟、緑 EU非加盟の加盟国



10. 東・南・西の「境界線」: 異質者との軋轢

宗教・価値・利害の対立 → Nationalism 成長



11. ナショナリズム・ポピュリズムの成長

グローバル化＋ユーロ危機＋移民流入・境界線の緊張

2014. 5. 25－ 欧州議会選挙－右翼の成長

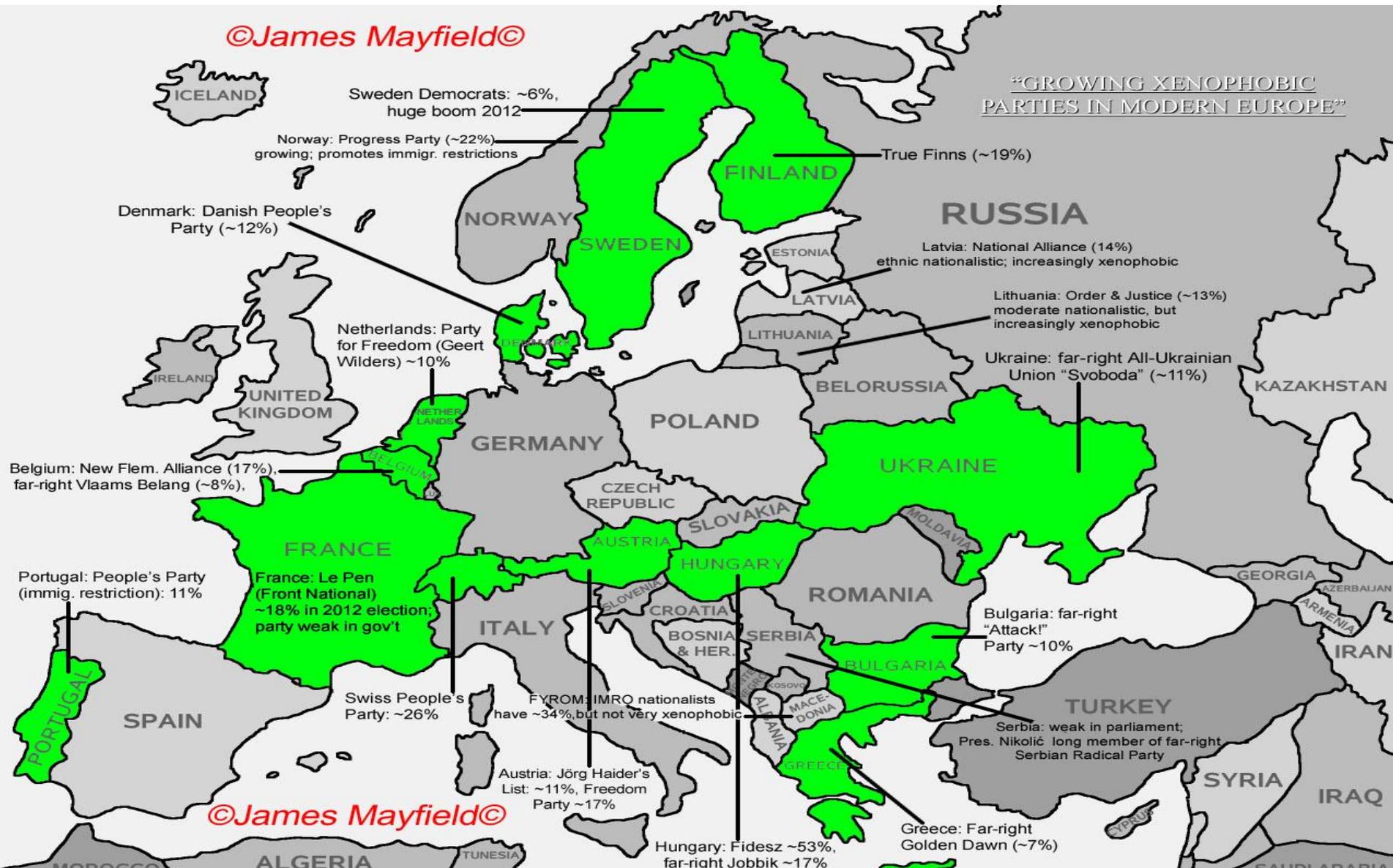
★ただし2019年の議会選挙では新EU派が多数を占める。

- ▶ **Populism(Populus:民)**－1)エリートに対する嫌悪、2)主権者としての要求、3)カリスマ的な支配を求めて指導者を祭り上げる。(矛盾)「ポピュリスト」政党の成長
- ▶ デンマーク国民党 DF 26.7%
- ▶ イギリス連合王国独立党UKIP 26.8% ★
- ▶ フランス国民戦線 FN 25.0% ★
- ▶ オーストリア自由党 FPO 19.7%
- ▶ ハンガリーJOBBIK 14.7%
- ▶ オランダ自由党 PVV 13.2%
- ▶ ↓ (小選挙区制、3割をとれば、過半数の議席。－各地でその後政権よくうに迫る)
- ▶ イギリスEU離脱(2016, 6. 23) ★
- ▶ 米トランプ大統領(2016. 11. 8) ★
- ▶ →フランス、大統領選挙で逆転(2017. 4.23－)
- ▶ イタリア、五つ星、同盟、ハンガリーも東南からの唯一の境界:オルバーン、FIDESZ
- ▶ → 2019年の欧州議会選挙では、6割が、新EU派に戻る。

12. ヨーロッパ中心部での極右の広がり

©James Mayfield©

"GROWING XENOPHOBIC PARTIES IN MODERN EUROPE"



13. なぜグローバル化の中、ナショナリズムなのか？

< 物理的な境界の開放、心理的な境界の閉鎖？ >

- ・ 1) 冷戦終焉、グローバル化の下での、国境線の開放
- ・ 2) **境界線の開放**により、
西側の商品、価値、企業が東へ。
東、南から、移民、マイノリティ、若者、**頭脳労働者**
職を求めて西へ。
- ・ 3) 先進国における**格差の拡大—中産層の没落と不満**
↓
- ・ **境界線をめぐり、異質者間の対立**

14. 「民主化」の功・罪—外から持ち込まれた民主化—

1) 「民主主義」の変容と拡大

冷戦後、ソ連の「封じ込め」政策にかわる、アメリカの世界戦略
(アンソニー・レイク 大統領補佐官)

2) 「パックス・デモクラティア 民主主義による平和」の概念 (*Bruce Russett*)

★ 民主主義国同士は、戦争をしない。

⇒ 非民主主義国を民主化すれば、戦争はなくなる？

「民主主義、市場化、市民社会」—価値として西から東へ

民主主義の拡大が、多民族社会に不安定化をもたらす。

「多数者の支配」: 固定した少数者はどうする? → テロか分離しかない。

Michael Mann, *The Dark Side of Democracy* (2004)

SDGs誰も取り残さない: 少数者のことも考える必要

15. ゼノフォビア(外国人嫌い)

なぜ今、ヨーロッパでゼノフォビアか？

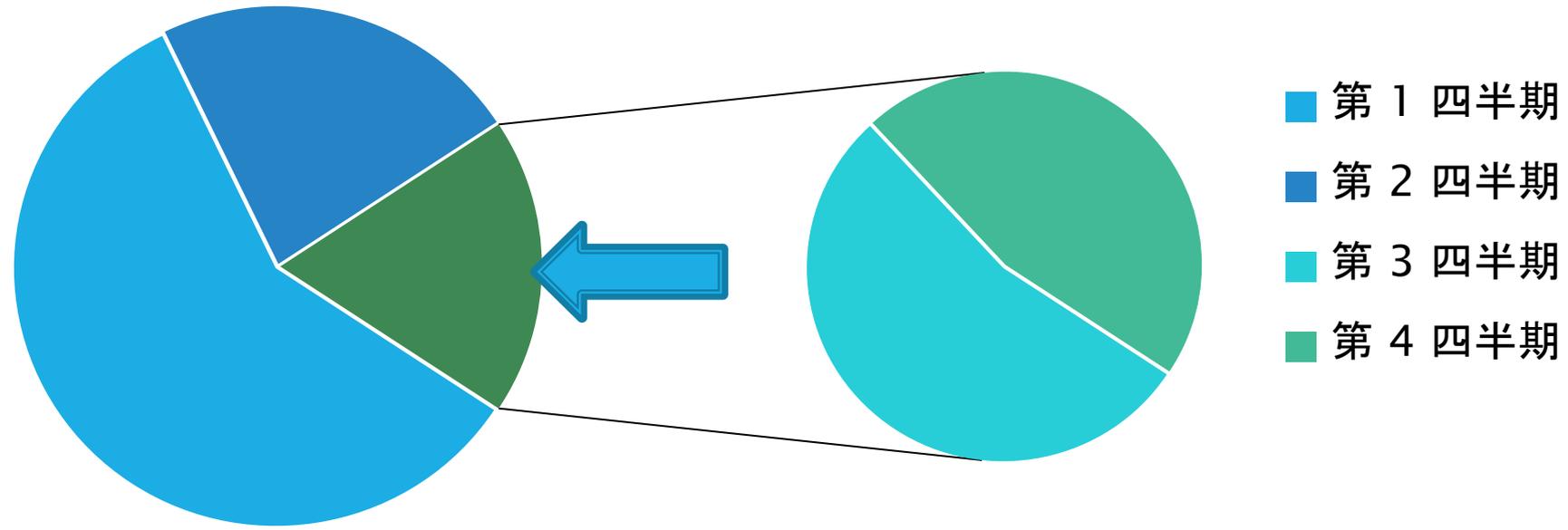
大量の人の流れ故

- 1) **Xenophobia**—Xenos外国人+phobos嫌悪,
ギリシャ語起源(ギリシャは、3大陸の交わったところ)
▶ 外国人流入に対する恐怖。歴史的に、境界線 地域に。
- 2) グローバル化の中で、**開かれた境界線に対する恐怖が、**
▶ **「心理的境界」(心の壁)を作り出す。**
- 3) ゼノフォビア—原初的には自己、自民族を守る民族的
手段： ユーゴスラヴィア、ナチス
- 4) 冷戦終焉後、**強力な他者排斥のナショナリズム**が、
最初は、**国境周縁地域**:オーストリア、ハンガリー、イタリア
その後、西欧、北欧など、最も**「民主的」**とされる国々に広がる。
なぜ？

16. 東から西へ ゼノフォビア 拡大

1) 水平的格差—東から、南から、賃金格差を利用して移民が流入。**国境の解放・自由移動が、逆に「心の壁」を作りだす。**

Immigrants, after 1989



17. ゼノフォビアー東から西に移動 ＜なぜか？＞

21世紀のゼノフォビア、東欧から西欧に広がっている
なぜ移民の流入に対して、ゼノフォビアが広がるか

1) 東からの移民、南からのムスリム流入への嫌悪
+失業など、市民の生活状況の悪化
→ その原因を移民に求める。

2) シェンゲン領域の拡大、移民への「市民権」の付与。
=経済がうまくいっている間は問題ない。
停滞と共に敵対が始まる。
→ 経済的頭打ちが、心理的な鬱屈状況を生む

3) 多様性の中の統合、多文化共生、の限界？

18. 移民・ゼノフォビア・ポピュリズム

—国境の開放、心理的な包摂と排除

- ▶ **★21世紀のゼノフォビア・ポピュリズム＝民主主義と関連**
- ▶ **いくつかの要因**
 - ▶ **1. 経済、エネルギー、環境のグローバル化**
 - ▶ **2. 1989年後の国境線の開放**
 - ▶ **3. マーストリヒト条約、EUの深化と、地域統合の進展**
 - ▶ **4. 民主化の進展、「一つのヨーロッパ」の自覚**
 - ▶ **5. 格差の拡大、移民の流入**
 - ▶ **6. 市民および移民双方の不満の増大**
- ▶ **→ 対立と敵意が、まず底辺層、**
- ▶ **次いで、下層から中産層へ波及。—移民、労働者、**
社会保障をめぐる

19. 何が問題なのか？

1. 開かれた国境線から人々が流入

貧しい地域から、豊かで発展した地域へ

結果、ヨーロッパの中で、賃金格差が広がる

2. こうした状況の中で、市民、移民に対して、
将来の生活や、市民的地位をいかに保証するか。

3. 「市民と移民の、目に見えない敵対関係」が
境界線をめぐって、促進される。

-東と西、南と北、EU加盟国と近隣諸国

4. ゼノフォビアは、移民の増加、失業者の増大、社会
保障の不安定化により、増大する。

20. ピラミッド構造の変化

2) 垂直的ギャップ

中産層の没落

失業、低賃金労働 上層 者の増大

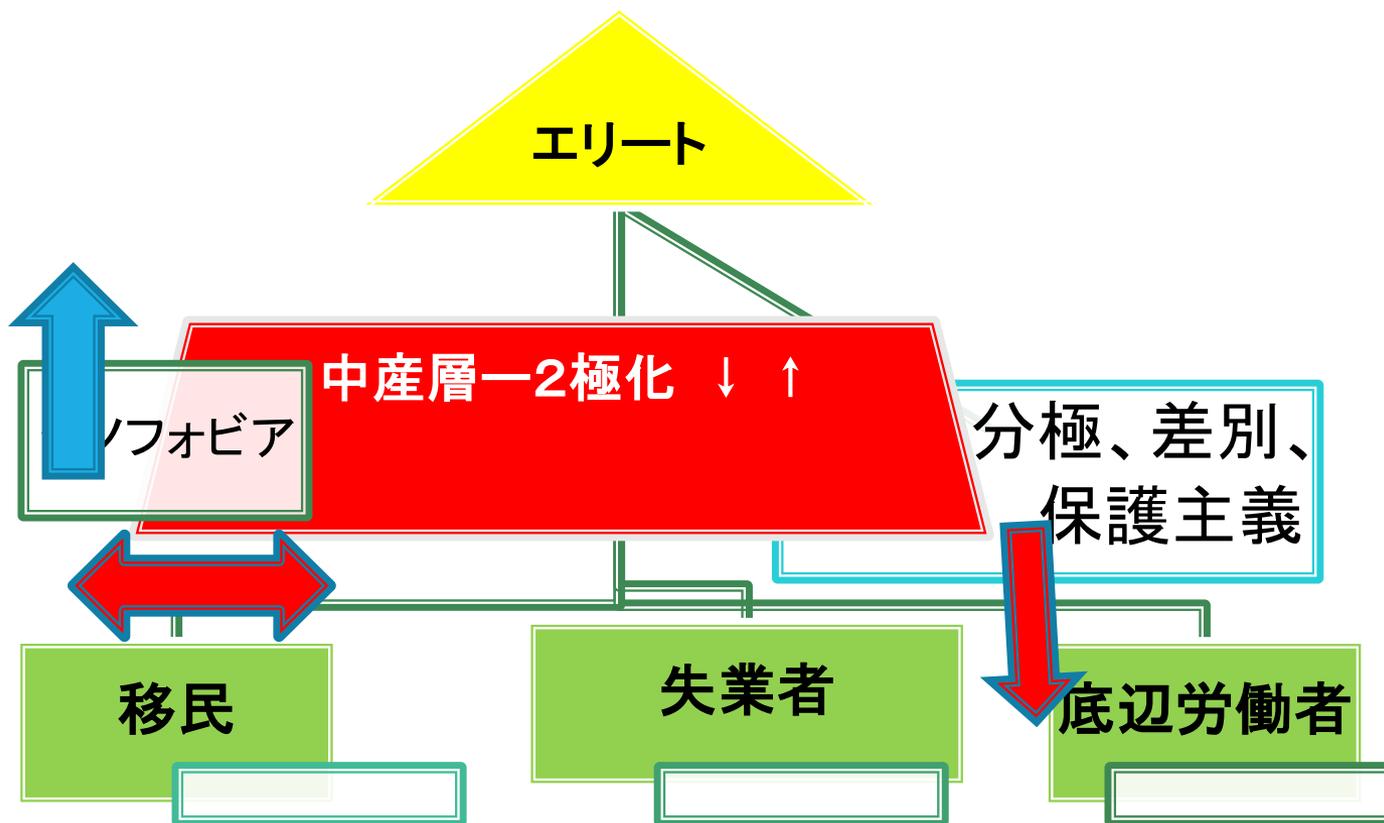
市民(中産層)

下層・底辺層

(移民、失業)

21. 水平的対立と、垂直的対立

一底辺および中間層の、差別と敵対、
中産層の2極化、保護主義、下層の上昇志向と中産層の恐怖



質問

- ▶ 移民、難民の入国によるゼノフォビア
- ▶ なにが一番の問題だと思いますか。
- ▶ 1) グローバル化、
- ▶ 2) 国境の解放、
- ▶ 3) 国内の格差の拡大
- ▶ 4) ナショナリズムの成長
- ▶ 5) 人々の心の問題: 国民の人権意識
- ▶ 6) 自分は関係ない、とってしまう態度? (教育の重要性)

22. 冷戦後、3種のナショナリズム

- ▶ **冷戦終焉後のナショナリズム 3種**
- ▶ 1) **自由主義的ナショナリズム(成功例)**
- ▶ **But,その後反動(ハンガリー、ポーランド)**
- ▶ **中・東欧、1989-2004: EUNATOへの加盟**
- ▶ 2) **ラディカル・ナショナリズム(失敗例?)**
- ▶ →バルカン、旧ソ連 民族紛争と、分裂・解体
- ▶ →中国、これを見て恐れをなす。「民主化」警戒
- ▶ 3) **ゼノフォビックなナショナリズム**
- ▶ **北欧、西欧- スイスなどでゼノフォビア**
- ▶ **★ゼノフォビアは発展した国々で、広がっている!**
- ▶ **米トランプ現象、日本、ヘイトスピーチ。なぜ?**

23. ヨーロッパにおける、ナショナリズム・ゼノフォビアの比較

A. 中・東欧のリベラルナショナリズム (成功例)

1) 民主化、市場化、自由化の波(1989)

代議制民主主義、自由選挙、NATO・EU加盟交渉開始と、条件整備

2) EU加盟に向けての国益の擁護
シェンゲン協定の境界線は開かない。

農業問題と共通農業政策(CAP)

西欧の保護主義、

アキコミュノテール整備(EU法、政治、経済)

B: バルカンにおけるラディカル・ナショナリズム(失敗例)

1) **連邦国家の崩壊—ユーゴスラヴィア、ソ連、チェコスロヴァキア**

分離主義の動き、国家の解体、民族独立

民主化の名のもとに

2) 民族紛争の継続、『民族浄化』と呼ばれる、敵の圧殺。

分離主義の加速。

中国の民主主義への警戒

民主主義は多民族社会の不安定化を齎す

24. 比較(2)

東との境界線の国 vs. 西欧・北欧

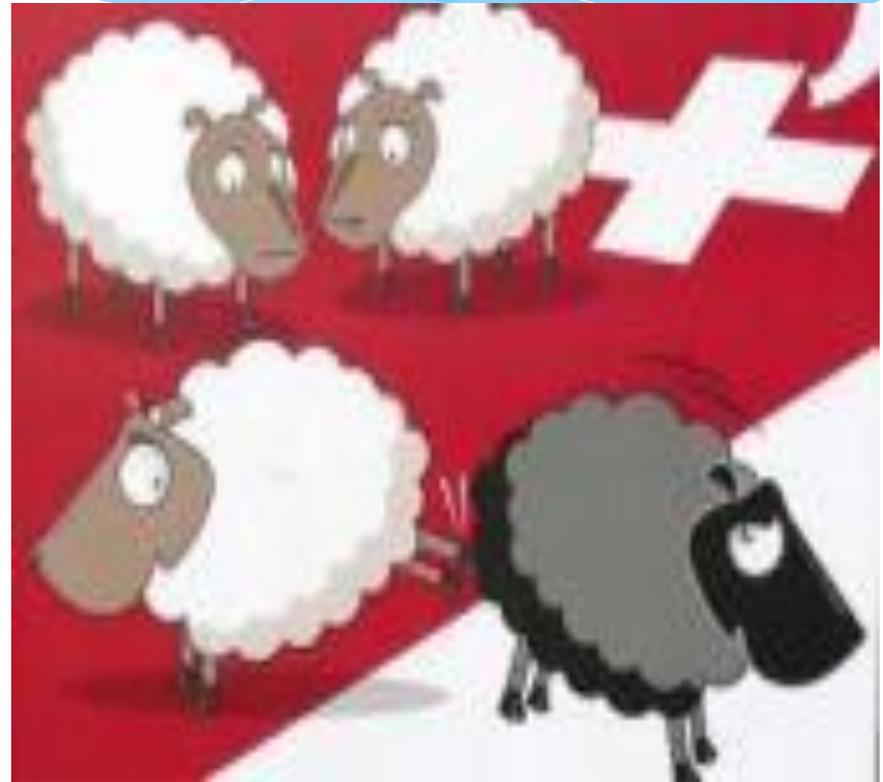
C: オーストリア、ドイツ 東との境界線を持つ国

- ▶ オーストリア、ハイダー自由党、
- ▶ イタリア、フォルツァ・イタリア
- ▶ 東ドイツ、ネオナチ
- ▶ (1990s)一移民排斥
シェンゲン協定の国境線を開く
ことに、恐怖感。
- ▶ 多元化への恐怖感、
- ▶ 移民が入ってくることによる多
民族化への警戒

D: フランス、スウェーデン、 スイス、ゼノフォビア

- ▶ **なぜ？ 成長の頭打ち、社会保障**
- ▶ フランス一移民と、農業問題への
恐怖 →ルペンの成長((2002)
- ▶ サルコジ、ロマの強制送還、ブルカ
の禁止、シャルリー・エブド事件
- ▶ スウェーデン、右派のCM:移民へ
の非難。市民の**社会保障**をただど
りするものとしての批判
- ▶ スイス一ポスター:カラードに対す
る嫌悪。 移民を追い出せ！

25. スイス、移民排斥のポスター 黒人は来るな！（社会保障、治安の悪化）



26. 分離独立、離脱(EUの中で)

- ▶ スコットランド(UK)
- ▶ 北アイルランド(UK)
- ▶ カタルーニャ(スペイン)
- ▶ 独立・自立運動
- ▶ この場合、
- ▶ **大国から自立することにより、＜独自にEUとの関係＞**
- ▶ EUとの関係は正反対 ⇔
- ▶ **イギリスのEUからの離脱。**
- ▶ EUの法的規制に対抗。
- ▶ 独自の経済回復。ユーロをめぐる対立に巻き込まれたくない。
- ▶ 移民・難民の流入
- ▶ ユーロをめぐる金融規制への嫌悪感
- ▶ **＜EUの干渉への忌避感＞**

分離独立型

離脱型

27. 排除は、徹底排斥を生む

—ナチス・ドイツの戦略 G. Kvistad

インサイダー

1. ドイツ人
2. ドイツに住むドイツ人
3. 国家に忠誠的・民族的ドイツ人
4. ドイツに帰属する非ドイツ人
市民権取得、帰化
5. 居住地をドイツに定めた、 帰化した非ドイツ人
6. 暫定的に忠誠な市民、公務員
7. (内部者) 国家公務員、
潜在的にも国家に忠誠な市民

アウトサイダー

1. 非ドイツ人
2. ドイツの外に住むドイツ人、
非ドイツ人
3. 明らかに非忠誠的な、民族的
ドイツ人、民族的非ドイツ人
4. 非ドイツ人
5. 帰化を受け入れない人々
6. 市民、臣民(**明らかに非忠誠
的な者は内部のアウトサイダー**)
7. 暴徒 : **内部のアウトサイダー**

28. 欧州、100万人の難民流入に、抗議 ポピュリスト政党、各地で成長



29. 欧州先進国でテロ (背景)

ホームグロウンテロと**差別・貧困**

移民の側の理由も考える必要あり

5:03

追跡 いまだ兄弟2人逃走中
警察が包囲 目撃情報も
「イスラム国」がラジオで称賛



サイド・クワシ容疑者 (34) シェリフ・クワシ容疑者 (32)

フランスとアルジェリア 二重国籍

フランスで ホームグロウン・テロ
(自国 育ち)

2015 01 09



30. テロの論理—排除者の論理

＜排除された側、テロを生む＞

- ▶ 1). フランスシャルリー・エブド ムスリムのムハンマドを風刺 イスラムをパロディ化
- ▶ 2) それ以前にも、ムスリムのスカーフ禁止、ロマを東欧に送り返す。→★＜フランスの移民を刺激＞
- ▶ 2). スウェーデン、オランダ、スイスのケース:
 - ▶ ↓
 - ▶ **グローバル時代の競争政策が、市民間の格差を拡大**
 - ▶ **★移民への恐れが、排除を生む**
 - ▶ → **中産層市民の不満をかきたてるため、**
 - ▶ **多くの政治家が、排除の論理を利用。**

31.2017.4.23. **新しい風。フランス大統領選**
EU離脱・移民排斥か vs EU残留・移民擁護か
ルペンを抑え、マクロン勝利(第1回投票)



32. フランス大統領選、決選投票2017.5.7. マクロン、ルペンを破り勝利. EUに残り改革をリード、 <移民・難民受け入れは、フランスを豊かにする！>



有効得票率66.10%、
2075万3798票

白票・無効票

33.90%

1064万4118票

406万9256票

33. マクロン、**国民議会選挙**にも圧勝17.6.18. 議席6割、1強(しかし今年も4割が棄権)



34. But, 2018年冬、**黄色いベスト運動(地方から)**パリを覆う！
6か月、1年続く。庶民が貧窮(リベラル政策に不満)



マクロンの評価、地に落ちる2024年

仏国民議会の新たな勢力分布



※仏内務省の開票結果に基づく「ル・モンド」の報道から作成

チャンネル	予測議席数
France 1 (左派連合)	左派連合「新人民戦線」 172~192議席
France 2 (中道)	中道・与党連合 150~170議席
France 3 (右派)	極右「国民連合」と連携勢力 132~152議席

35. 欧州：底辺層と、没落する中産層の対立軋轢をどう緩和するか？(受け入れ、要請を聞く)

- 1) **社会への包摂、EUとの共同、職業訓練、社会保障**
- 2) **独仏協働(メルケルとマクロン)、欧州共同**—イギリスのEU離脱に対抗
- 3) **先進国危機**—**アジアとの共存** (中国・インドとの共存)
- 4) **グローバル化が、今や新興国に有利になっている**
安い労働力、安い商品、科学技術が、急速に拡大
- 5) **IT・AI スマホ人口=今や中国12億インド6億、計18億**
★米欧日の2倍以上。IT,知・技術・軍事のすべてを覆う
IT技術者の数は、 1位米514万人、2位中国281.4万人、
3位インド226.7万人、4位日本132万人

36. ヨーロッパよ、日本よ、どこへ行く

＜移民との共存、多様性との共存＞

- ▶ 1). **多様性の中の統合、多元化の受け入れが不可欠**
ゼノフォビア(外国人嫌い)は、均質社会と、多民族社会の移行過程で起こる。(WeとThey)

＜多元的、多様な社会はグローバル化の下で不可避＞
違いを受け入れる。

- ▶ 2). **社会的包摂 SDGs : 誰も取り残さない**
移民は、入る側にも、受け入れる側にも利益をもたらしている、という認識を。移民を排除すれば、衰退。
- ▶ 3). **文化、価値の寛容が必要。**
- ▶ **★多元化社会で、Win-Win 政策を実現する！**

37. 2020年コロナ後：むしろ受け入れ側に雇用の欠乏：イギリス、フランス、ドイツ、

- ▶ ★先進国は、移民に支えられている、ということが明らかに！
- ▶ 移民・難民；コロナで、移民労働者帰国、強制送還
- ▶ 1) 強制送還で、コロナが世界中に広がる。(アメリカからラテンアメリカ)
- ▶ 2) 実は移民は、重要な労働力：最も困ったのは、農業労働者。
刈り入れ時、種まき時：深刻な人手不足
- ▶ 2. 移民の側も：突然の解雇、賃金未払い。先進国への不信
移民の側にしわ寄せ
- ▶ コロナとの共存以上に、「移民との共存」に直面。
- ▶ 移民がいるから、先進国の経済が回っていることを、
もっと広報する必要あり。
- ▶ 「移民とともに生きる社会」、「移民の人権を守る社会」
- ▶ 「移民と目線をそろえる」制度保証が必要。

今一度！40年後に半減する日本の労働力不足、年金不足に対処するためには？

- ▶ 政府の3つの案
- ▶ 1. 高齢者に65歳以上も働いてもらう。プラスマイナス
(ITやAI の時代に対応できるか)
- ▶ 2. 人口の半分を占める女性に働いてもらう。プラスマイナス
(日本は今でも女性の活躍世界156カ国で120番目) —
少子化、保育所、セクハラ、パワハラにどう対処？日本型の家庭と労働：残業、単身赴任、長時間労働にどう対処？)
- ▶ 3. 移民を入れる。プラスマイナス ★
- ▶ (低賃金、人権無視、海外からの批判。ゼノフォビアやナショナリズムの広がりにどう対処？)

あなた自身の問題として考えてほしい。

参考文献

- ▶ 『移民・難民・マイノリティー—欧州ポピュリズムの根源—』序論、2021。
- ▶ 『ヨーロッパの分断と統合—拡大EUのナショナリズムと境界線—包摂か排除か』中央公論新社、2016。
- ▶ 『拡大するヨーロッパ—グローバルパワーとしてのEU』中公新書、2014。
- ▶ 『EU(欧州連合)を知るための63章』明石書店、2013。
- ▶ 『国際政治から考える東アジア共同体』ミネルヴァ書房、2013。
- ▶ 『拡大するヨーロッパ、中欧の模索』岩波書店、2004
- ▶ 『ヨーロッパの東方拡大』岩波書店、2006。
- ▶ 『ロシア・拡大EU』ミネルヴァ書房、2011。